

キラリエ  
(草津市) 14日



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める3区市民の会」が14日、衆院選小選挙区の区割り改定に伴う総会を開催しました。新3区は、野洲市、守山市、栗東市、草津市に加え、湖南市、甲賀市の6市です。野洲市からも多数の市民が参加しました。

## 市民と野党の共闘強化を

総会では、木村晨二・安井直明共同代表が「市民の力の総結集で政治を変え、暮らしと平和を守る

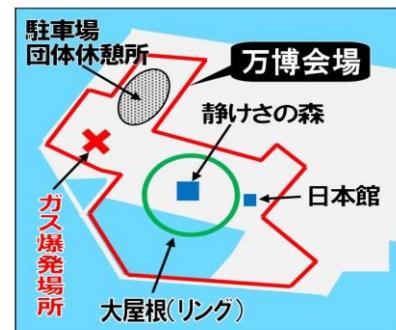
う」と3区市民の会の活動方向と意義を報告しました。

日本共産党、立憲民主党、社民党、新社会党の各党代表が挨拶。日本共産党から佐藤こうへい滋賀3区国政対策委員長が「市民と野党の共闘を再構築するため、日本共産党は力を尽くします」と決意表明しました。

万博

## 開催の問題点次つぎ明らかに

万博は、メタンガス爆発の危険のほかにも、このまま開催するわけにいかない事態が次つぎ明らかになっています。滋賀県は万博に子どもを動員しようとしていますが直ちに中止すべきです。



## 会場建設費・運営費 膨張止まらず

昨年、会場建設費を倍増の2350億円と発表。その際、コスト縮減がいわれたのに、各工区で合計116億円膨張しました。また、各国が独自に建設する海外パビリオンの遅れから、協会が「簡易型（タイプX）」を9棟建設したものの選択する国が少なく、日本側が最大77億円負担することに。

運営費では、チケット売り上げ不振のため電子チケットに加えて紙チケットの導入を決定。これにより事務経費21億円が必要になるなど、費用の膨張が止まりません。

## 熱中症・落雷 夏のリスク深刻

熱中症や落雷など夏のリスクも深刻。学校行事として貸し切りバスで来場する児童・生徒は、バスの乗降場から会場入り口まで炎天下1キロぐる近く歩かねばならず、低学年なら30分といわれています。

夏の大坂の雷日数は8月だけで7日に。万博協会は、大屋根リングの上や会場内の樹木のそばに人がいると雷が飛び移る危険性があるとし、催事場など多数の来場者が集まる屋外施設の落雷の危険性も高いと想定しています